

# 竹の子川柳会

によるよると細いムカデお通りだ

小三 小原 麗羽

思い出の友とあるいた細い道

中一 吉良ちひろ

バランスをとって歩くよ細い道

中一 菅元 聖羅

ほそい木が年をとったら太くなる

小三 山田 清也

細くても強く根をはり生きている

高二 榎 美琴

部屋がえでだれといっしょになるのかな

小五 淵本ななみ

何もない部屋を自由に変えたいな

高三 藤森 柚樹

休みの日部屋でゴロゴロしてすごす

高三 清原 賢斗

部活後の部屋の温もりたまらない

高二 山口はると

ふしぎだななんておへやははいわなの

小四 石崎 海士

未来へとつながる道は止まらない

高一 宮川 直輝

立ち止まるお店の中にいい物が

中一 清原 瑠依

行き止まりならばもどろうスタートに

高一 榎 美咲

道祖神そつと止まって手を合わす

高三 山口 悠季

流れ星願かけしたく待ちかまえ

松本 立子

花筏に姿を変えて流れゆく

水野すみこ

独学へ百科辞典の助け舟

男武志津江

生きる為百も承知で嘘も言う

若宮 賢敬

百歳を越えて阿弥陀の顔になる

栗木 一郎

元氣印死ぬまで独楽の回い転び

川添 忠昭

独り立ち手を差しのべる二歩三歩

宇津本アヤ子

寡婦ため息ひざをくずして独り言

渡辺 光男

独居者の明かり気づかう隣組

山本 雅之

独立をじつと見守る暖簾分け

宮川 柳酔

花見客通る道の辺千鳥足

渡辺 照子

酔うほどに四角い顔も丸くなる

米子 達雄

酔うほどにしゃべり始めただまり者

熊本 忠真

# ひよし川柳会

## Andrew's Story 【No.13】 「A University」

5月に入って、だんだん暖かくなってきましたね。アメリカでは、5月は「夏が始まる」合図です。特に大学では、5月前半に期末テストが終わり、学年の区切りの時期になります。そんなことを考えていたら、自分の大学生活を思い出したので、日本の大学生活と比べてみました。

まず、「専攻」です。日本の大学では、入学前に専攻を決めて卒業するまで同じ専攻で勉強をします。もし専攻を変えなくなったら、一度退学しなければなりません。一方、アメリカではそういうシステムはありません。専攻はあるのですが、ほとんどの場合、入学時にはまだ決められていません。そして、生徒は大学の途中でも専攻

を変えることができます。私もそのうちの1人です。入学したときには航空工学者になりたかったのですが、1年目が終わったとき、英語と日本語の専攻に変えました。変えるためにはカウンセラーと話さなければいけませんが、退学する必要はありません。

また、日本の大学では受ける授業がほとんど決められています。しかし、アメリカの大学では、絶対受けなければならない授業のほかに、さまざまな授業を受けることができます。例えば数学を専攻していた私のルームメイトは、数学の授業の他にラテン・ボールルームダンスの授業も受けていました。勉強に対する「広さ」と「深さ」に違いがあるのでしょうか。



鬼北町外国語指導助手  
通称：アンディ  
アメリカ合衆国アリゾナ州出身  
※毎週水曜日、英会話教室を開講しています。